

孫正義氏が目指す「10億AIエージェント」計画とは

ソフトバンクグループの孫正義会長兼社長は、法人向けイベント「SoftBank World 2025」における特別講演で、**年内にグループ全体で10億のAIエージェントを整備する**という壮大な計画を明らかにしました ¹ ²。この「AIエージェント」とは、人間がいちいち指示を出さなくても**自律的に業務を遂行するAI**のことで、単なる生成AIとは一線を画す存在です ³。孫氏は、AIエージェントが普及すれば「ありとあらゆる作業を行う無数のエージェントが街中に存在し、人々のパートナーや相談相手、友だちとして共に働き生活するようになる」と未来像を語っています ⁴。

AIエージェントとは何か？

孫氏の提唱する**AIエージェント**の最大の特徴は、自律性と能動性にあります。従来のAIが人間からの入力や質問に反応を返す「受動的」な存在であったのに対し、AIエージェントは**目的に応じて自ら判断し、行動を起こすことができます** ³。例えば必要であれば他者との**交渉や手続き**まで自発的に行い、タスクを完遂するために動き続けるのです。ロイターによれば、AIエージェントは「目標達成のために自律的に行動するAIシステム」を指し、人間の新たなパートナーとなりうる“デジタル労働力”だと位置づけられています ⁴。孫氏は、こうしたAIエージェントが常時稼働して人間を支援する社会の到来を予見し、「AIが人間に代わってアクションを起こしてくれる時代が来る」と強調しました ³。

「10億AIエージェント」計画の概要

ソフトバンクグループが掲げた「**年内に10億のAIエージェントを創出する**」という計画は、AIによる業務革命の一環として社内外に衝撃を与えました。孫氏はこの目標達成の鍵として、人手ではなく**AI自体が新たなAIエージェントを生み出す仕組み**を挙げています ⁵。具体的には、社内の会議記録やプロジェクトの進捗データなどをAIが学習し、必要に応じて自律的に新たなエージェントを**自己増殖**させるのです ⁵。さらに各エージェントは、自ら**強化学習の「ゴール」や「報酬」**を設定して自己進化していくとも述べられました ⁶。このような**自己増殖・自己進化型**のAI大量生産によって、膨大な数のエージェントを短期間で生み出すことが可能になるといいます。孫氏は「この仕組みは私自身が特許出願中だ」と明かしており ⁶、ソフトバンクグループ全社でAIエージェントを展開するための独自技術として位置付けているようです。

計画の最終像として、**社員1人あたり1000体のAIエージェント**を配備し、それぞれが部下のように業務をサポートする体制を目指しています ⁷。孫氏はこのビジョンを「**千手観音プロジェクト**」と称し、社員一人ひとりがまるで千の手と目を持つ“**スーパーヒューマン**”になるのだと表現しました ⁸。実際、ソフトバンク社内では細分化された業務ごとに複数のAIエージェントを開発・配置し、それらが互いに**連携（コラボレーション）**して動く仕組みを構築中だといえます ⁹。このために必要となる基盤技術として、後述する「エージェントOS」の開発にも言及されています ⁸。

実現に向けた主な取り組み

この野心的な計画を実現するため、ソフトバンクグループは複数のプロジェクトや技術開発を並行して進めています。その主な取り組みは以下のとおりです。

- ・**クリスタル・インテリジェンス（Crystal Intelligence）**：ソフトバンクと米OpenAI社が共同で進める**企業向けAIサービス構築プロジェクト**です。今回掲げられた「10億のAIエージェント」整備目標は、

このCrystal Intelligence構想の一環として位置づけられており、ソフトバンクはOpenAIとの提携により高度なエージェントAIの提供を目指しています¹⁰。

- ・**エージェントOS**: 社内外で無数のAIエージェントを動かすために必要となる**統合プラットフォーム**です。孫氏は、複数のAIエージェント同士が円滑に**協調動作**できるようにする「エージェントOS」の開発構想を明かしました⁸。このOS上で各エージェントが情報共有し、役割分担しながらタスクを遂行できるようにすることで、まさに**チームとして機能するAI群**を実現しようとしています。
- ・**Stargate Project (スターゲート・プロジェクト)**: OpenAI社と共同で進めている**超大規模AIインフラ構築プロジェクト**です。孫氏は、今後AIの演算能力（コンピューティングパワー）が「**1年半で1000倍**」になるペースで飛躍的進化を遂げると予測し、この法則を半導体分野のムーアの法則に倣って「**スターゲートの法則**」と呼びました¹¹。Stargate Projectでは米国内に次世代AIデータセンターを構築し、この爆発的な性能向上に耐えうる計算リソースを確保する狙いがあります¹¹。孫氏によれば、演算能力は1サイクル＝約1.5年で1000倍、2サイクルで100万倍、3サイクルで**10億倍**に達する見通しであり、「こうした超進化が数年で訪れる」¹²としています。このプロジェクトがAIエージェント大量運用の基盤となることで、ソフトバンクの構想する未来を下支えしています。

業務へのインパクトとメリット

孫氏が描くAIエージェント導入後の世界では、仕事の進め方や人間の役割が根本から変わるとされています。その主なインパクトやメリットを見てみましょう。

- ・**脱プログラミング**: 孫氏は「**人間がプログラミングする時代はもう終わる**」と語り¹³、リサーチ、交渉からソフトウェア開発に至るまで多くの業務をAIエージェントに置き換える方針を示しました。実際、ソフトバンクグループでは「**最終的に社員はコーディング（プログラミング）を行わない**」と決めているといい¹⁴、将来的には社内のあらゆる開発業務をAIに担わせる構想です。人間の役割はAIに指示を与えることから、AIエージェントが提案・実行した内容を確認・判断することへとシフトし、より創造的なタスクに集中できるようになるでしょう。
- ・**圧倒的なコストパフォーマンス**: AIエージェント導入の経済効果について、孫氏はその**生産性は人間の4倍**に達する一方で、**コストは年間わずか450円**（約数ドル）に過ぎないと試算しています¹⁵。これは人間の人件費と比べて**1/16,000以下**という低コストであり、結果として**30万倍ものコストパフォーマンス**を発揮する計算になります¹⁵。例えば24時間365日休みなく働けるAIエージェントは、不眠不休で稼働する**デジタル労働力**とも言え、人件費削減や業務効率化の面で企業にもたらすメリットは計り知れません。孫氏は「AIエージェントの生産性と低コストにより、企業の競争力は飛躍的に向上する」と強調しています。

先行事例：「X-Ghost」のコールセンター導入

ソフトバンクグループ傘下の企業では、既にAIエージェント活用の具体的な事例が生まれています。子会社の**Gen-AX**ではコールセンター業務に特化したAIエージェント「**X-Ghost（クロスゴースト）**」を開発しており、人間のオペレーターに代わって顧客対応を行うシステムを構築しました¹⁶。このX-Ghostは、問い合わせ対応中にオペレーター（AI）が途中で遮られても次の質問に即座に反応し正確に答えることができ、対話が途切れない高度な応答能力を備えています¹⁶。実用化にも弾みがついており、**三井住友カード**がこのAIエージェントをコールセンターに**先行導入する予定**であることが発表されました¹⁶。2025年度中には正式にサービス提供を開始する計画とされ、10億エージェント構想の一端が現実のビジネスに組み込まれつつあります¹⁶。このような成功例は他業種にも波及する可能性が高く、営業、販売、物流など様々な分野でAIエージェントが人手に代わって活躍する未来が見えてきます。

孫氏の見解と今後の展望

孫氏は講演の中で、日本のAI活用が米国や中国に比べ「**大変遅れている**」現状に強い危機感を示しました¹⁷。そうした中で、社内外へのAIエージェント導入を急ぐ本計画は、日本企業の生産性向上と競争力強化の起爆剤になるとの期待が寄せられています。孫氏自身、「AIを受け入れない人や会社は自ら進化を否定するタイプだ」と指摘し¹⁸、「**進化を否定すれば自ら限界を作り、未来を制限することになる**」と警鐘を鳴らしました¹⁸。一部には生成AIブームに対する懐疑的な声もありますが、孫氏は「**AIの限界が見えてきたと言う人がいるが、それはあなたの理解の限界だ**」と断言しています¹⁹。つまり、AIの真価はこれから大きく花開くのであり、現在想像できる範囲で限界を論じるべきではないというメッセージです。

孫氏のビジョンによれば、近い将来AIは感情を理解し、疑似的な意識を持ち始めるとも言われます²⁰。そうした“**超知能**”への進化も見据えつつ、ソフトバンクグループはOpenAIをはじめとするパートナー企業と連携しながらAIエージェントの社会実装を進めていく構えです。講演にはOpenAIのサム・アルトマンCEOもリモート出演し、医療や安全保障へのAI活用、そしてStargateプロジェクトで**10GW級**の計算性能を目指す展望について語るなど²¹、世界的視点での協調もアピールされました。孫氏は最後に、企業の経営者や担当者に向け「**進化を真正面から捉え、くらいついていく文化を作ることが日本には必要だ**」と呼びかけています²²。この「10億AIエージェント計画」は、まさにその進化の象徴であり、日本発のAI革命の行方を占う試金石と言えるでしょう。

Sources:

- ・ケータイ Watch：「孫正義氏『10億AIエージェント、年内に実現したい』、SoftBank Worldで講演」^{1 23 24 25 18}
- ・Impress Watch：「AIエージェントは不眠不休の“デジタル労働力” ソフトバンク孫会長」^{26 27}
- ・ロイター通信：孫正義会長 講演に関する記事^{17 4}

^{1 3 6 7 8 10 11 15 16 18 19 21 23 24 25} 孫正義氏「10億AIエージェント、年内に実現したい」、SoftBank Worldで講演 - ケータイ Watch

<https://k-tai.watch.impress.co.jp/docs/news/2031740.html>

^{2 4 17} 孫ソフトバンクG会長、AI 懐疑論巡り「進化を自ら否定のタイプ」 | ロイター

<https://jp.reuters.com/business/BN26BSH7K5NMJGQWMBJ4PR7DRY-2025-07-16/>

^{5 9 12 14 20 22 26 27} AIエージェントは不眠不休の“デジタル労働力” ソフトバンク孫会長 - Impress Watch

<https://www.watch.impress.co.jp/docs/news/2031719.html>

¹³ Hiroyuki BOB okano - X

<https://x.com/shikaouma/status/1945438267618550133>